

令和6年度 第2回岡崎市入札監視委員会 定例会議 議事録

1 会議の日時 令和6年8月19日（月） 午前10時00分～午前10時45分

2 会議の場所 岡崎市役所 西庁舎7階 702号室

3 出席委員 委員長 櫻井 敬子（弁護士）
（委員数3） 委員 太田 成紀（公認会計士）
委員 竹内 孝治（大学准教授）
委員 齊藤 由里恵（大学准教授）

4 出席した事務局職員
荻野契約課長
岩井主任主査
高村主査、大竹主査、豊川主査

5 概 要

(1) 契約課長あいさつ

(2) 報告事項

- ・入札及び契約手続の運用状況（対象期間：令和6年4月～6月）
- ・入札参加停止の状況（対象期間：令和6年4月～6月）

(3) 抽出対象工事等の審議

対象期間：令和6年4月～6月

- ・一般競争入札 6件
- ・指名競争入札 2件
- ・随意契約 1件

(4) その他

- ・次回の定例会議について
後日、調整することになった。

＜主な質疑＞

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>【抽出案件の審議】</p> <p><u>1 岡崎市下水道ストックマネジメント検討業務（岡崎市公共下水道区域）</u></p> <p>○落札率が低い要因は何か。</p>	<p>○株式会社エイト日本技術開発 中部支社が落札率 79.5%で落札しています。</p> <p>本業務は、老朽化した下水道施設の予防保全を中心とした戦略的な維持管理、改築により、下水道施設の機能を持続的に確保することを目的とした検討業務です。</p> <p>参加者が2者という部分については、全国的に同様な業務が行われていることもあり、業者のほうで選別した結果、2者のみの参加になったと思われます。ストックマネジメント検討業務は、国の補助事業の要件にもなっていることから、全国の自治体で類似業務を実施しており、事業者にとってもノウハウが多くあり、比較的取り組みやすい業務であることから、受注意欲が高く、落札率が低くなったものと推察されます。</p>
<p><u>2 市営住宅大樹寺荘建替第2期実施設計業務（岡崎市大樹寺二丁目地内）</u></p> <p>○落札率が低い要因は何か。</p>	<p>○株式会社青島設計が落札率 76.5%で落札しています。</p> <p>この業務は、市営住宅大樹寺荘の老朽化に伴う建替えのための実施設計業務です。</p> <p>令和2年度に基本設計を行い、既存の6棟を順次解体し、南側9階建て2棟、北側5階建て2棟の計4棟に建替える計画となり、事業全体を4期に分けて行う予定で、第1期で南側の1棟について実施設計業務を行いました。今回の第2期の業務では、南側のもう1棟、既存住棟の解体2棟および外構整備設計を行うものです。</p> <p>8者の指名競争入札で実施し、1者失格、3者入札金額が低い業者、4者入札金額の高い業者に分かれ、受注意欲の差がはっきりとした入札となりました。</p>

○指名競争入札の実施に当たって、指名する業者数についての規定があるのか。

3 岡崎市立連尺小学校便所改修工事(岡崎市城北町地内)

○落札率が高い要因は何か。

4 大樹寺橋ほか3橋 橋りょう修繕設計業務(岡崎市大樹寺二丁目ほか3箇町地内)

○参加者数が多い要因は何か。

5 岡崎市立北中学校便所改修工事(岡崎市上里一丁目地内)

○不調になった要因は何か。

6 岡崎市立北中学校便所改修工事(岡崎市上里一丁目地内)

今後も大樹寺荘の実施設計業務は継続的に発注されるため、受注意欲並びに競争性が高まり、落札率が低くなったと思われます。

○岡崎市競争入札参加者選定要領にて、設計金額(予定価格)に応じた選定数を規定しています。

○この工事は、老朽化した岡崎市立連尺小学校の便所を改修する工事になります。

3 者が入札に参加しましたが、3 者とも予定価格を超過したことで再入札に移行しました。それでも落札しなかったため、入札不調に伴う不落随意契約に移行したためです。

○この業務は、過年度の橋梁点検で判明している劣化、損傷状況に対して調査を行い、補修対策方法を検討し、修繕設計(図面、数量等の作成)を行うものです。

20 者参加し、1 者失格、2 者入札金額の高い業者、17 者が最低制限価格と同額であったため、くじの結果、株式会社近代設計名古屋支社が落札しました。一般的な資料作成であり、過年度の業務もあることから、難易度もそれほど高くなく、一般競争入札で発注されたこともあり、参加資格を満たす業者が数多く応札し、競争性が高まった結果、参加者が多くなったと思われます。

○この工事は老朽化した岡崎市立北中学校の便所を改修する工事になります。

1 者が入札に参加し、入札価格が予定価格を超過したことで再入札に移行しましたが、

○随意契約とした理由は何か。

それでも落札しなかったため、不落随意契約に移行しました。しかし予定価格以下の見積提出者がいなかったことから、不調となりました。

本件は学校運営に影響の大きい解体工事を夏休み期間に行うものであり、再度の入札に付す時間がないことから、地方自治法施行令第167条の2第1項第8号の規定に基づき随意契約をしました。

酒部建設株式会社は、入札に参加した唯一の事業者であり、工事内容について改めて説明を行い、条件を変更することなく予定価格以下での履行が可能であることを確認したため、随意契約をしたものです。

不調の原因としては、学校運営に影響の大きい解体工事を夏休み期間に行う事が必要ですが、入札業者の想定としては、仮設工事（仮囲い・仮設昇降足場仮囲い・仮設昇降足場・仮設便所・仮設事務所設）や誘導員配置見込みが異なったようです。

○入札不調に至った要因は。

○建設業界における技術者不足と、同様の便所改修工事の発注が集中したことが要因と推察されます。

6 六斗目川改修工事その2（岡崎市美合町地内）

○契約金額が高い要因は何か。

○この工事は、準用河川六斗目川の改修であり浸水被害軽減を図る工事となります。

4者が入札に参加しましたが、小原建設の総合評価の評価値が高かったため、94.26%で落札しました。

なお、本入札に参加した株式会社山口土木については、当該工事の分割工事である六斗目川改修工事その1の落札者となった為、本件その2の工事については失格となっています。

7 配水管布設工事（耐震管6工区）（週休2日）（岡崎市竜泉寺町地内）

○契約金額が高い要因は何か。

○市の裁量により低入札価格調査で失格とすることがあるのか。

8 男川浄水場耐水化基本設計業務（岡崎市
太平町ほか1箇所地内）

○契約金額が高い要因は何か。

○この工事は、老朽化した水道管を耐震管に布設替えする工事になります。

4 者が入札に参加しましたが、総合評価の評価値が高かった株式会社三河設備が、低入札価格調査期間中に入札参加者審査委員会において入札参加停止措置が決定されたため、「信用状態」に欠ける状態と判断し失格となりました。その結果、次点のセイコー建設有限会社が落札率 93.58%で落札しました。

○お見込みのとおりです。なお今回は入札参加停止措置が決定されたことを考慮し失格と判断しましたが、調査中に入札参加停止期間が始まったことで、調査対象事業者との契約が行えない状態にありました。

○この業務は、令和4年度に実施した「男川浄水場耐水化基本検討業務」において検討した内容を踏まえ、耐水化対策の基本設計をするものです。耐水化とは、構造物の対応（防水扉等）により、電気室・ポンプ室等にある設備機器を浸水させないようにすることです。

8 者の指名競争入札で実施し、中日本建設コンサルタント株式会社が落札しました。

男川浄水場内には、管理棟や急速ろ過池を始め 15 施設あり、業務対象となる施設が多く、また管理棟については、耐水化対策により建屋の重量が増えることが見込まれるため、耐震診断（管理棟免震装置の再検討）を行う必要があり、設計金額が高くなりました。また、人件費の高騰や人手不足により、契約金額が高くなったと思われます。